

たかつき 2012 4

大阪高槻ワイズメンズクラブ

〒569-0804 高槻市紺屋町8番5号 高槻YMCA Tel 072(682)1322
Fax 072(681)7393

役員会
 会長 河戸
 副会長 森本・金田
 書記 伊藤正・勝田
 会計 栗田・井尻
 会計監査 西田
 直前会長 川岸
 幹事 高木
 連絡職員 小西

主題標語

国際会長：Finn A.Pedersen (ノルウェイ)
 主題：“To dare is to do”
 「とにかくやろうー成せば成る」
 アジア会長：Wichian Boonmapajorn (タイ)
 主題：“To dare is to do”
 「とにかくやろうー成せば成る」
 スローガン：“Mission with Faith”
 「信念をもって使命をはたそう」
 西日本区理事：浅岡徹夫(近江八幡)
 主題：“ワイズの原点、愛と奉仕で社会に貢献”
 副題：“一理想を目指して変革と行動！”
 中西部長：清水誠治郎(大阪西)
 主題：“であいで愛”
 大阪高槻クラブ会長：
 「未来に向けて今こそ英知を！そして行動を！」

行事予定

YMCAサービス・ASFの月
 YMCAサービスはワイズ活動の根幹です。

藤川洋 Yサ・ユース主任

月日	曜日	行事
4/14	土	中西部評議会 大阪YMCA
4/15	日	30周年記念例会 たかつき京都ホテル
4/18	水	役員会(19:00~ 豊都ビル3F)

今日の聖句

あなたはわたしを見たから信じたのですか。
 見ずに信じる者は幸いです。

ヨハネによる福音書20章29節

聖句解説

キリスト教国では、イースターのお祝いと共に春が訪れる。十字架の上で死を遂げられたイエス様は甦り、私たちに新しく生きていく力をくださった。神様のなさることは、私たちには到底理解しきれない。それは、神様の存在そのものが私たちの考える範囲をはるかに超えているからだろう。見えても見えなくても、ここにいる神様を感じて生きていきたいと思う。

4月例会

大阪高槻クラブ30周年記念例会 「明るく・楽しく・朗らかに」

とき：4月15日(日) 14:30~18:30 ところ：たかつき京都ホテル

大阪高槻ワイズメンズクラブは、30年前に高槻YMCAのサポートクラブとして誕生し、地域に密着した活動を続けてまいりました。

数々の楽しいこと、苦しいこともメンバーが共有し、今も地域の皆様と共に時代の流れに逆らわず、奉仕活動に励んでいます。

記念例会は「明るく・楽しく・朗らかに」をテーマに、ゲストの皆様と、ワイズを語り合ひましょう。

高槻クラブの皆様は、12:30にたかつき京都ホテルの2階ロビーに御集合ください。(食事を済ませてお出でください) 開式前の最終ミーティングをおこないません。

服装は、メンはクラブのブレザー、メネットは白のブラウスに黒系統のスカート又はスラックスをご用意ください。

第三部の祝会では、オレンジのハッピー着用です。

3月例会	在籍 23名	メネット 1名	3月度	ニコニコ	ファンド	BF
	広義・功労 2名	コメット 0名		22,000円	35,000円	切手 1,240pt
出席 18名	ビジター 2名	累計	171,020円	204,000円	31,050pt	
メイクアップ 0名	ゲスト 4名					
出席率 85.7%						

〈登録費をご準備ください〉

記念例会の登録費はメン、メネットともに、一万円です。

例会当日に、井尻会計にお支払いください。

「2011年度次期会長・主査研修会」が3月11日(土)～12日(日)にチサンホテル新大阪で開催され、西日本区の各部・クラブから次期会長・主査など200名以上のワイズメンが参加しました。

高槻クラブからの参加は、次期中西部交流主査の川岸メンと次期会長の私(西野)、そして講師として森本元理事でした。

1日目は、午後1時の開講式から始まり、大野元理事(京都パレス)による「ワイズメンズクラブの未来」と題する講演、浅岡理事(近江八幡)の「西日本区の現況報告」、成瀬次期理事(名古屋)の「次期理事活動方針」、7名の次期事業主任の「次期事業主任活動方針」と続き、さらに3つのグループ(初めての会長、二度目以上の会長、事業主査)に分かれての「会長の責務」「主査の責務」の講義、2つのグループに分かれての「キリスト教理解」の講義と、6時過ぎまで充実したプログラムが続きました。

翌日は、8時の「聖日礼拝」から始まり、「YMCA理解」「事務手続き」「各部に分かれての懇談」があり、3時の「閉講式」で、2日間の研修会が終わりました。(私は仕事の都合で1日めのみ参加しました)

この研修会には今までに何度か出席したことがありますが、次期主査として参加したある年に、「主査と主任の関係、主査と部長の関係」についての私

の質問に対して、極めて不誠実な回答しか得られなかった経験があり、それ以来二度と出席しないと決めていました。年度末の忙しい時期でもあり、今回もあまり気がすすみませんでした。が、「以前とは変わっている」と聞いて久しぶりに参加しました。

研修会は、LD委員によってテキパキと運営され、確かに六甲山で開かれていたころとは違った印象でしたが、ある種の「違和感」もありました。

冒頭の講演で大野元理事は「ワイズに入ってから41年、ワイズに入っていなかったら私の人生は違ったものになっていた」と言われました。

私はワイズに入ってから33年になりますが残念ながらワイズによって自分の人生が変わったとは思いません。大野さんのワイズ運動にかけてこられた情熱・時間・お金などに比べると、私は100分の1にも満たないでしょう。登壇される人たちはみんな大野さんと同じようなスタンスの人たちです。こうした人たちの話を聞きながら、私は「自分もそうなりたい」と思うよりは、むしろ「自分はその人たちとは違う」という「違和感」を感じました。

そうした点で、これまでのワイズ運動へ自分の関わり方を振り返る機会となりました。この研修会での経験を次年度の高槻クラブの充実・発展に生かせればと願っています。

2012/2013中西部部長方針

次期中西部長 江見淑子(なかのしま)

1. 部長主題 ワイズの活力を育てよう
2. 活動方針 大阪YMCAとの協働を基本に据えながら
 - ①クラブの活性化
 - ②中長期の展望
 - ③次世代と共に、を活動方針とする。
3. 活動計画 西日本区の活動計画に呼応するために「準備主査会」を開催する。

中西部役員・事業主査

部長	江見 淑子 (なかのしま)
書記	桑原 頼子 (なかのしま)
会計	大岸 弘子 (なかのしま)
事務局長	杉浦真喜子 (なかのしま)
連絡主事	内田 弘志 (大阪YMCA)
Yサ・ユース主査	入江 保夫 (セントラル)
地域・環境主査	脇本 博 (大阪)
EMC主査	工藤 義正 (土佐堀)
ファンド主査	堺 稔夫 (ヴェクセル)
交流主査	川岸 清 (高槻)
広報主査	藤原 正巳 (センテニアル)
メネット主査	和田 早苗 (豊中)

クラブ会長

大阪	クラブ	北村 知三
土佐堀	クラブ	奥田 時夫
豊中	クラブ	和田 早苗
千里	クラブ	井上 巖
高槻	クラブ	西野 陽一
センテニアル	クラブ	岡本 剛介
西	クラブ	吉村 周平
茨木	クラブ	岡村 千陰
セントラル	クラブ	林 恵美子
なかのしま	クラブ	吉田 由美
ヴェクセル	クラブ	松本 武彦

2012年3月 役員会報告

日時：2012年3月21日(水) 18:30~20:30

場所：豊都ビル3F

出席：河戸、伊藤(正)、大谷、勝田、川岸、
栗田、高木、西野、萩原、三浦、森本
〔連絡・報告事項〕

1. 3月例会3月14日(水)たかつき京都ホテル
出席：メン18名、メネット1名、ゲスト4名
ビジター2名、合計25名。
2. 3月11日(日)高槻YMCA東日本大震災被災者
支援の街頭募金の応援参加：河戸、勝田、金田。

〔協議事項〕

1. 4月例会について
4月15日(日) たかつき京都ホテル2F
「煌の間」14:30~18:30
30周年記念例会：全員登録。
2. YMCAリーダー感謝会
3月20日(火) 16:00~19:00YMCAスタジオ
出席：河戸、川岸、萩原、三浦メン・メネット。
支援金20,000円⇒承認
3. 西日本区大会登録
河戸、伊藤(俊)、大谷、金田、川岸、栗田、
高木、西野、萩原、森本、大谷メネット、森本
メネット。
参加補助金 クラブ規定通り支給。
4. ノルウェー世界大会ユースリーダー参加の支援
について
一人2コインの支援：合計24,000円⇒承認
5. 5月例会について
5月9日(水) 19:00~21:00
たかつき京都ホテル
例会担当：井尻・西田・川岸・高木・西野
講師例会 担当者に一任する⇒承認
6. 松下メンお見舞い金について
クラブ規定により見舞金をする⇒承認
7. クラブ30周年記念事業について(森本)
資料提出
①3月14日(水)開催の実行委員会の説明及び経
過報告。
②役割分担構成表に基づいて、それぞれの任務
を確認し、準備を進める。
③当日のプログラム説明
協力要請文、進行表をメン・メネットに配布。
8. 次期中西部長の公式訪問の件
西野次期会長に一任。
9. ロースター校正の件
書記に一任。

以上

YMCAニュース

東日本大震災被災者支援街頭募金



今回の街頭募金は、雨にたたられ、高槻1回、茨木2回の実施に終わりましたが、皆様方のご協力で、79,310円の献金を集めることが出来ました。感謝申し上げます。

この献金は、大阪YMCAを通じ、日本YMCAの「東日本大震災YMCA募金」に収められ、グリーフキャンプなどの被災者支援に用いられます。

3月4日(日)阪急茨木市駅 募金額：¥20,637

3月11日(日)JR高槻駅 募金額：¥31,358

JR茨木駅 募金額：¥27,315

合計：¥79,310

卒Yリーダー感謝会

3月20日(火)「あなたがいてよかった。みんながいてよかった。Yにいてよかった」をテーマに、高槻・茨木YMCA卒Yリーダー感謝会がおこなわれました。

運営委員長の川岸メンは、聖句に、ヨシュア記1章5~9節を、讚美歌に470番「やさしい目が」を選ばれ、「強く、雄々しくあれ」そして「きよらかな目、あたたかい手、ひろい心」を持ち続けるようにと大震災の苦難の中にある世の中に出て行く若者達を励まされ

わずかなる庭の小草の白露を

求めて宿る 秋の夜の月

山深く 荊棘(おどろ)が下を踏分けて

道有る世ぞと人に知らせん

と、はなむけの古歌を贈られました。

涙、々、々で、巣立っていくリーダーは、

河村 弥生(やむちゃリーダー)

森 美咲(あるリーダー)

成願 渚(しゅうぞうリーダー)

川岡 達夫(パンサーリーダー)

小西 彩加(こにたんリーダー)

大石 菜穂(のすけリーダー)

ワイズがYMCAの何を支援しているのかが実感できるいい会でした。(ブリテン委員会)



3月は決算月につき企業人や組織人は多忙をきわめるときであり、例会出席が気になるころです。

しかし今月の例会は当メンバーをはじめ多数の他クラブからの出席者やゲストをお迎えして会場が狭いと感じるほど盛り上がった例会となりました。

「数は力なり」を感じた次第です。

今月のスピーチではY主催のミャンマーワークキャンプへ派遣された高槻Yリーダー・一瀬恵さんといつまでも若さを保ち3度目の訪問といわれる川岸清メン両人が興味ある報告をされました。

一瀬リーダーのレポートは軍事政権のもと、東アジアの発展から取り残されたミャンマーにあつて劣悪な環境の中でたくましく生きている子ども達に焦点を当てられ、ワークキャンプで子ども達と接する中で、貧困からくる子どもたちの人権、子どもの労働、就学問題など子どもの成長を妨げている現実を

知ったこと、そういう状況下でも子ども達は純真無垢で家族、兄弟、コミュニティとの強い絆の中で生活し、自分の成長のために学ぶことへの興味が旺盛であったことなど数多くのショックと感動の場面に会ったこと等の報告を聞き、現在日本社会で忘れかけている縁社会の復活と子ども自身の自主的向上心の育成が急務であることを痛切に感じました。同時にこのリーダー派遣プログラムの目標でもある知識偏重の教育から五感を使った体験学習の重要性も再確認した次第です。

川岸メンのレポートはミャンマーサポート仲間と共に、今まで訪問していなかったバガン、インレー湖、ザガイン等町の施設見学と観光が中心となり、マダレーYでは激励訪問がなされ、これらはスライドを通して報告されました。詳細は割愛。

お二人のミャンマー報告を聞いて、私も元気なうちにミャンマーを訪問してみたいとの思いが強くなりました。

一瀬リーダー、川岸メン、レポートありがとうございました。

例会最後に森本30周年記念実行委員長から記念行事の準備進捗状況と役割分担が説明され、他クラブから多くの人達が参加いただけることが報告されました。それを聞きながら、当高槻ワイズも30周年記念事業に向けてすでに気持ちはトップギヤに入っているような気がしました。

30周年記念4月例会プログラム

2012年4月15日(日) 14:30 ~ 18:30 たかつき京都ホテル 司会 大谷 勝彦

第一部 記念式典

開会点鐘	会	長
ワイズソング	一	同
会長挨拶	会	長
来賓紹介と来賓祝辞	御	来賓各位
記念品贈呈式		
YMCAの歌	一	同

第二部 記念講演

林 覚乗様

第三部 懇親会

晚餐・歓談・アトラクション	一	同
席上献金		
謝 辞	森本	榮三
閉会点鐘	会	長

お誕生日おめでとう

浜脇 昭 君 21日

結婚記念日おめでとう

勝田成彦・滋乃 ご夫妻 15日
伊藤俊彦・直子 ご夫妻 29日

☆今月の例会当番は森本、金田、伊藤正、勝田、栗田の諸君です。

☆高槻クラブの皆様は12:30 京都ホテル2階ロビー集合です。